

解答

- 一
- 問一 ア 反応 イ 宙 ウ もんどう エ た（れて） オ いえじ
- 問二 ー イ 2 オ 3 ア
- 問三 ア
- 問四 オ
- 問五 イ
- 問六 イ
- 問七 高飛車
- 問八 ア
- 問九 エ
- 問十 チョコレート（チョコ）
- 問十一 ウ
- 問十二 イ
- 問十三 小さな教室にかかわることはない
- 問十四 サンペイ君はほら

- 二
- 問一 ア はば イ つか（れる） ウ おぎな（う） エ 特有 オ 複雑
- 問二 ー イ 2 ア 4 オ 5 ウ 6 エ
- 問三 B
- 問四 ウ
- 問五 和食の知識
- 問六 エ
- 問七 ポリッジ
- 問八 ア
- 問九 最初…国内旅行 最後…感じます
- 問十 その土地らしさ
- 問十一 最初…少しくらい 最後…ということ
- 問十二 想像力

解説

- 一
- 問四 ②の前の博士とサンペイ君、福ちゃんとのやりとりの内容に注目しましょう。クラスの中心的存在である福ちゃんは、サンペイ君に馬鹿にされたと感じ、サンペイ君を「目の敵」にしたのです。「クラスの人気者」である福ちゃんにとって、サンペイ君に馬鹿にされたことが「大きなこと」であったので、オが適切です。
- 問九 ⑦の直後の二文に着目しましょう。博士は、クラスみんなから仲間はずれにされていたので、斜め後ろの男子が「わざわざ話しかけてきた」のに驚いたのです。「話しかけられたという事実」に戸惑った」ともあることから、エが適切であるとわかります。
- 問十三 サンペイ君と博士は将来、海外でともに活躍するという約束をしており、サンペイ君の「小さな教室にかかわることはない」という考え方から、クラスのみんなにどう思われようと気にしないということがわかります。そのようなサンペイ君の考え方に博士はがっかりしてため息をついたのです。
- 問十四 サンペイ君が本当に「ヌシ」を釣ったことを知った博士は、居ても立っても居られず、クラスみんなに「サンペイ君はほら吹きじゃない。本当にすごいんだ。」ということを伝えようとバケツを持って走り始めたのです。

問三 抜けている文の「そんな人」が何を指すかに着目しましょう。Bに入れると「そんな人」とは、「海外へもでかける旅行好きな人」で「その国、その国の朝食を楽しんでいる」人を指し、文意に合うことがわかります。また、直後の朝食のおぜんの説明とも合うことから、Bが適切です。

問四 ①の直後の文に注目しましょう。「読む人の知識、経験、習慣、文章を理解する力、想像力の幅などの違いによって、少しずつ違ってくるからです」とあるので、ウが不適切です。

問九 「この人」の書いた文章とは、「国内を旅行するときは、海の近くでも山の中でも、日本の朝食をちゃんと用意してくれる旅館を利用しています。たきたての白いご飯とあたたかい味噌汁を前にすると、ここへ来てよかったなと、しみじみ感じます」の二文であり、筆者はこの文章を例にあげ、文章の読み方について説明していることをおさえます。

問十一 ⑦の三つ後の文からの内容に着目しましょう。「スムーズに読みすすむ」とは、「読んだことを頭の中で組み立てて、全体を理解し、つぎつぎに読みすすんでいく」ことであり、つまり「少しくらいわからないことがあっても、そこでひっかかっていないで、先へ読んでいく、ということ」だと筆者は述べています。